

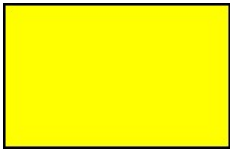
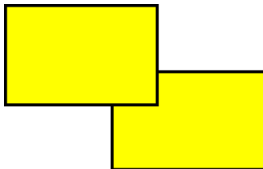

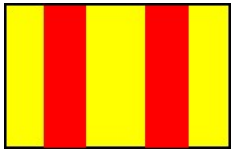
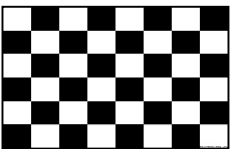



鈴鹿サーキット 走行前ブリーフィング資料(4輪/フルコース/専有走行/東イン)

サーキット走行を楽しんでいただくためには、皆様のご協力とルールへの遵守が必要不可欠です。
下記のルールを守り、サーキット走行をお楽しみ頂きます様お願い申し上げます。

【フラッグについて】

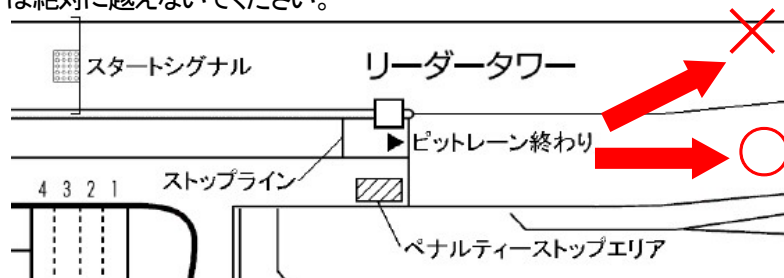
主要ポストから提示されるフラッグ(旗)及びライトパネルを厳守してください。

●フラッグの種類とルール

	【黄旗1本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生しています。減速してください。また、追越禁止です。		【黄旗2本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生しています。
	【赤旗】 振動表示 走行を中断します。速度を落としピットインしてください。減速、追越禁止です。		【オイル旗】 静止表示 前方の路面がオイルや水、砂利等によって滑りやすい状況になっています。減速し路面の様子に注意して走行してください。
	【チェッカー】 振動表示 通過後、急な減速はおやめください。なお、チェッカー表示後は原則、追い越し禁止です。		【白旗】 振動表示 前方に低速車両が走行中です。(救急車、トラブル車両等)速度差があるので追突などにご注意ください。追い越しOKです。振動表示します。
	【オレンジホール+ゼッケンボード】 ゼッケンボードとともに静止表示 当該車両はピットインしてください。ゼッケンがない場合はオフィシャルより指差します。		【黒旗+ゼッケンボード】 ゼッケンボードとともに静止表示 該当するゼッケンの車両は、ピットインしてください。ゼッケンがない場合は指差します。

【コースイン・ピットインについて】

・コースイン…2コーナー立ち上がりまではコースの右端を走行し、S字カーブから後方を確認してレコードラインに合流してください。特にピットレーン出口の白線は絶対に越えないでください。



・ピットイン…130R立ち上がりから右ウイカーを表示しコースの右端を走行してください。日立オートモティブシステムズジッケインから徐々に減速し、最終コーナー途中からピットインとなります。

特にご注意ください



ヘルメットあごひも確認!

ルール・マナーの遵守で安全走行に心がけてください

【走行時の装備品について】

走行の際は、必ずヘルメット(アゴヒモ確認)、グローブ(指が完全に覆われているもの)、シートベルトの着用を確認してください。また、服装は動きやすい長袖、長ズボン、靴はドライビングシューズもしくは運転しやすいスニーカー等を着用してください。ネックレス、指輪等のアクセサリは、外してください。

【走行前に次のことをご確認ください】

1. 走行中の故障防止のため、タイヤ(空気圧、ホイールナットの増し締め)、オイル(量、ドレンボルト)、ブレーキ、冷却水、ランプ類のテーピング等を点検してください。
2. 各自牽引フックの場所を事前に確認しておいてください。
脱着式の牽引フックの場合は、予め装着しておくか車内に搭載しておいてください。
3. クラッシュ時の受傷防止のため、室内の備品は撤去し、ドライバー側の窓は完全に閉めて走行してください。

【走行中の注意事項】

1. 最初の慣熟走行は、車両とコース、ポストオフィシャルのチェックを行なってください。
特に走行開始直後はタイヤが温まっていませんので注意が必要です。
2. 前方の車を追い越すときは十分な安全空間を確保して追い越してください。無理のないように走行しましょう。
3. ストレートでの追越は、コースインしてくる車両に注意をして行なってください。
4. コーナーでの追越は危険ですので十分に安全空間を保って行なってください。
5. 急激な進路変更はおやめください。
6. 車両によってコーナリング速度は異なります。「他人が曲がれたから自分も曲がれる」わけではありません。
無理なコーナリングは重大事故を引きおこします。
7. ピットレーンの制限速度は60km/hです。横断者などに注意し安全な速度で走行してください。
8. 走行中は助手席などに同乗者を乗せることは出来ません。
9. グラベル地帯(バンカー)は深さ約50cmです。コースアウトの角度により横転も発生します。
10. 走行中の車両同士の事故は、原則として自己責任です。
11. コース内でストップする場合、コース上ではなく安全なグリーン上(芝生部分等)に車を止めてください。
12. 走行中に車両の異常を感じたら速やかにコース外(グリーンなど)に車両を停止させてください。万一、故障により液体漏れが発生した場合、車両回収やコース清掃などの時間も走行時間に含まれるため、他の参加者にも影響が出ます。
13. クラッシュ等にて施設破損があった場合、補修費を請求させていただきます。

【コースアウト、クラッシュ時の対応について】

1. 走行中、スピンやコースアウトが発生した場合、可能な範囲で再スタートを試みてください。
2. 再スタート不可能な場合は、エンジンを停止し、鍵はつけた状態で、すぐに車から離れ、コース外(ガードレール裏もしくはタイヤバリア裏)に待避してください。退避後は迎えの車両が来るまでヘルメットを装着したまま待機してください。

コース横断やコース脇などでの車両の整備は、一切禁止です。

3. クラッシュした場合は、自身の体が負傷していないかを確認ください。
その後、車両が走行出来る状態であれば、車両を安全な位置へ移動してください。
再スタートし、ピットインしていただくことは可能ですが、クラッシュ後は車両からの液体漏れの可能性もあります。
車両のダメージ状況が分からない場合は無理にピットインしないようにしましょう。
体が負傷して動けない場合は、救急車もしくはレスキュー車両にて救助に向かいます。

【ピット・パドックのマナー・ルールについて】

1. ピット、パドックにおける荷物の管理は、各自で行なってください。
2. ピットレーン、サインボードエリア(プラットホーム)の立入は、走行時間帯のみ入場可能です。また、16歳未満の方は、ピットレーンおよびサインボードエリアへの入場は禁止です。グランドスタンドでの見学をお願いいたします。
3. 喫煙は指定された場所をお願いいたします。パドック内にはオイルタンクなど可燃物もあります。携帯灰皿をお使いの方も指定場所以外での喫煙はご遠慮ください。
4. ピット、パドック内においてはマスクの着用をお願いいたします。

